



水稻の栽培管理(カメムシ対策)

令和8年8月

東部振興局生産流通部 地域営農・水田活用班

斑点米カメムシ類に対する注意報が発令されました(8/7)

- ・斑点米カメムシ類は出穂後に粃を吸汁し、等級低下や不稔米を発生させ、収量・品質に影響します。
- ・斑点米カメムシ類は高温乾燥条件で多発します。今年は晴れの日が多く高温乾燥が続き、今後も同様の天候が継続する予測のため、発生が多くなる可能性があります。

斑点米カメムシ類発生状況

(普通期水稻栽培地域)
畦畔すくい取り調査

R8

【発生状況】

発生面積: **平年並み**

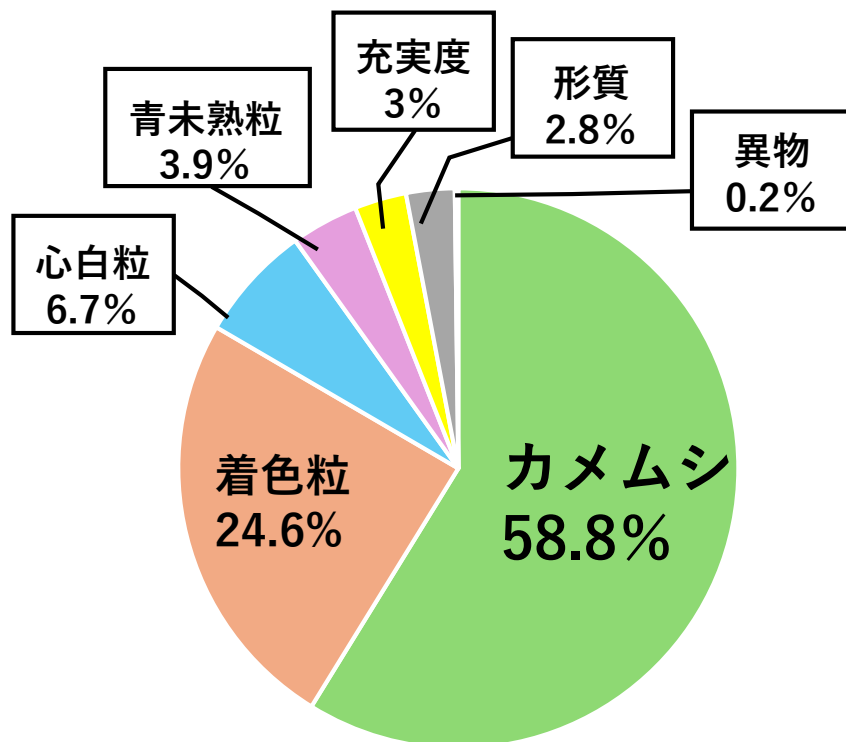
発生量: **多い**

【調査結果】(8/3～5実施)

平均捕獲数: **6.3頭**

(平年3.5頭、前年4.6頭)

大分県農林水産研究指導センター
令和8年度病害虫発生予察 注意報 第7号より



R7年産水稻(なつほのか)
検査等級低下理由(東部管内)

斑点米カメムシ類と斑点米

ホソハリカメムシ



クモハリカメムシ



イネカメムシ



防除対策

耕種的防除

★圃場の草刈りについて～

- 斑点米カメムシ類は、水稻の出穂前に圃場周辺に生育するイネ科雑草の穂で増殖します。**出穂の2週間前までに圃場周辺の草刈り**を行い、増殖を抑えましょう。
- 出穂直前の草刈りは斑点米カメムシ類が圃場に侵入するのを助長するので避けてください。

化学的防除

★農薬は**2回散布**が基本

- 1回目: **イネカメムシは出穂期、その他の斑点米カメムシ類は穂揃期**
2回目: どちらも1回目散布の7～10日後

～農薬例～

農薬名(希釈倍率)	使用時期	
	イネカメムシ	イネカメムシ以外 (ホソハリカメムシ・クモヘリカメムシなど)
トレボン乳剤(2000倍) スタークル液剤(1000倍)	出穂期に1回目散布	穂揃期に1回目散布
	1回目散布7～10日後	1回目散布7～10日後

【近年問題となっているイネカメムシについて】

★斑点米カメムシ類の中でも大型のイネカメムシが見られるようになりました。イネカメムシはイネに不稔を引き起こす能力が高いため、斑点米だけでなく減収にもつながります。

●発生量が多く防除が遅れた場合は、**大幅な減収となる可能性**があります。

●他のカメムシよりも吸汁能力が高く**出穂直後から吸汁**します。穂揃い期以降に防除を開始しても、十分は効果が得られません。

イネカメムシ防除は出穂期に始める必要があります
(他の斑点米カメムシの防除時期より早いことに留意)

●稲を好んで加害するため、防除が行われていない圃場(飼料用米圃場等)、周囲より出穂が早い品種や遅い品種の圃場では集中加害を受ける可能性があります。**防除を徹底**しましょう。

★イネカメムシ 成虫の特徴

(体 長)約13mm
大型のカメムシのため、圃場にいる時は確認しやすい
(体 色)
黄褐色で背部両面に白色帯を持ちやや細長い

イネカメムシ

